

## 札幌らしい特色ある学校教育の推進

「札幌らしい特色ある学校教育」は、【雪】【環境】【読書】を中核をなす三つのテーマとして、全ての園・学校が共通に取り組むものです。札幌の素晴らしい自然環境・人的環境・文化的環境などを生かしながら、体験的な活動や、生涯にわたり学び・向上し続けようとする意欲を培うための基盤となる学習活動を教育課程に明確に位置付け、知・徳・体の調和のとれた学びを推進します。取組開始から10年を経て、令和元年度から、取組の一層の充実を図るため、「幼・小・中・高のつながりを意識する視点」と「発信」を重点項目としてリニューアルしました。

→参考 HP「札幌らしい特色ある学校教育の推進について 報告書」(平成30年札幌らしい特色ある学校教育に係る検討プロジェクト)

### 札幌らしい特色ある学校教育の中核をなす全ての園・学校が

#### 雪国札幌を考える【雪】

札幌の大切な特色の一つであり、「札幌らしさ」を学ぶための貴重な資源である「雪」を通して、ふるさと札幌への思いを強め、雪に親しみ、雪と共生しようとする心を培います。



#### 未来の札幌を考える【環境】

「環境首都・札幌」宣言に基づき「さっぽろ地球環境憲章」を制定した札幌の市民として、四季折々の美しい自然と豊かな文化を次世代に伝え、地球と札幌のよりよい環境を創造しようとする心を培います。

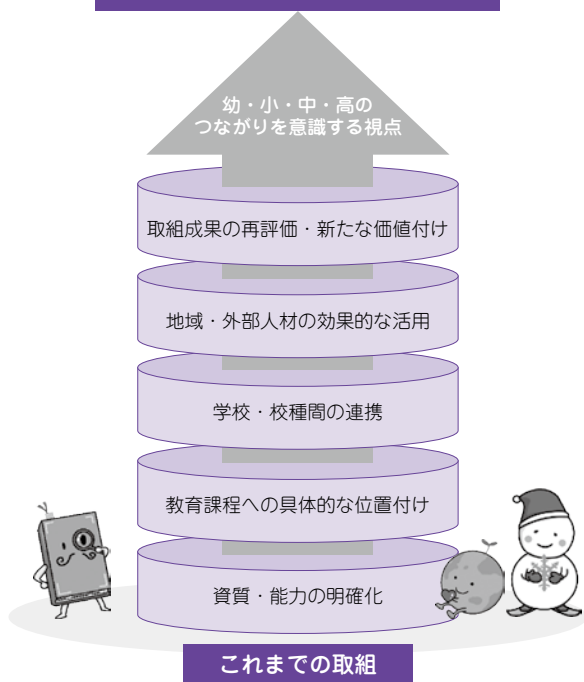


★これまでの取組成果から、教育界の動向や社会情勢の変化などを踏まえた広がり、

- ・体力向上の視点から
- ・SDGsの考え方から
- ・オリンピック・パラリンピック教育から (P 15 16 参照)
- ・教科等横断的な視点から

### 幼・小・中・高のつながりを意識する視点

#### 取組の一層の充実



#### 1 つながり意識する視点について

異校種間で情報共有や連携した取組を進めるには、つながりの視点を具体的にもつことで、学年段階や校種間の違いによる子どもの学びや育ちの側面から、活動内容等を整理し直すことにより、学習効果の最大化が期待できます。

#### 2 つながり視点の具体例

資質・能力の明確化  
教育課程への具体的な位置付け  
学校・校種間の連携  
地域・外部人材の効果的な活用  
取組成果の再評価・新たな価値付け

#### 3 つながり視点の活用例

取組を進めていくため、年度ごとや【雪】【環境】【読書】ごとに、具体例を参考として、重点テーマを設定するなどの方法が考えられます。

具体については、HP「札幌らしい特色ある学校教育の推進について 報告書」(平成30年札幌らしい特色ある学校教育に係る検討プロジェクト)を参照

